# とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

| | |
|---|---|
| 園名 | 西巣鴨・学びの保育園 |
| 活動日時 | 令和6年10月25日(金) |
| クラス名(年齢) | ひまわり組(3, 4, 5歳児) |
| 年間テーマ | 自然、生き物 |

1. 活動テーマ

＜テーマ＞

遠足で生物園に出かけ、自然や生き物に関心を持つ

＜テーマ設定理由(子どもの姿)＞

・自然(特に虫)に関心を持つ子が多かったため、遠足の行先を生物園に決める。足立区生物園ではドームの中をチョウなどの虫がたくさんいると聞き、関心を示していた。

2. 活動スケジュール

・遠足で足立区生物園に出かける。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

・生物園への遠足

4. 探求活動の実践

＜活動内容＞

・生物園で虫を観察したり、生き物に触れる。
・身近な自然を感じたり、虫以外の生き物にも監視を持つ。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

| 子どもの声・姿 | 写真 |
|---|---|
| カメに触れる体験をする。「かわいいね」「かたいね」など子ども同士でやりとりを楽しむ。<br><br>カブトムシなどの身近な虫の展示に興味を持つ。<br>身近な虫でもいろいろな種類があることに気がついたり、「これ図鑑で見たことがある！」と、図鑑で見た虫を実際に見られたことを喜ぶ。<br>虫の生態の説明をじっくり読む。<br><br>水に住む生き物を観察する。魚の名前を覚えようとする子の姿もあった。<br><br>チョウが多く生息するドームの中ではたくさんのチョウの姿に驚く姿があった。<br>チョウが蜜を飲む姿を見ることが出来、関心を持っていた。 | <br> <br> <br> |

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・遠足に出発する前は虫がたくさんいる生物園に行くんだ、と虫への意欲が高まっていたが、実際に訪れると魚や動物などの様々な生き物にも関心を持って楽しむ姿があった。
・身近にはいない生き物を見たり触れることが出来、自然や生き物への関心がふかまったように感じた。